

令和3年度 第1回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和3年 4月19日（月） 15時30分から17時00分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 会議室
- 3 出席委員 馬淵 信夫、山下 泰弘、神間 智博、
長谷川 卓人、牧田 景子、石田 由紀子、
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 山下 幹夫、大石智香子、谷野文彦、服部美保
- 6 オブザーバー 教育総務課小川氏、都田協働センター野中氏、都田小学校長伊藤氏、鈴木郁夫
- 7 傍聴者 0人
- 7 協議事項
 - （1）会長の選出及び副会長の指名について
 - （2）議長の選出について
 - （3）都田南小学校運営基本方針について
 - （4）本校のコミュニティースクールの進め方・課題について
 - （5）夢育やらまいか事業について
 - （6）承認
- 8 会議録作成者 事務局 服部美保
- 9 会議記録
司会の大石から、今年度の担当職員の紹介と牧田委員が学校支援コーディネーターに任命された旨の報告があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めた。前年度に引き続き馬淵委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された馬淵委員から、山下委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、牧田委員を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（3）都田南小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校経営方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 導入されるクロムブックについて、児童は持ち帰ることは可能か。（牧田委員）
- ・ 教育のデジタル教材を使用することによる視力や脳への影響を浜松市は考えてくれているのか。親としての不安がある。（牧田委員）

- ・ 家庭に持ち帰り、宿題をするとなった時に、各家庭の無線環境により使えないこともある。どの家庭でも使えるような教材の整備が必要だと思う。(神間委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 本校のコミュニティスクールの進め方・課題について

議長の指示により、長谷川委員から、プロジェクター資料にて地域ネットワークアプリについて説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 内容はよくわかった。これからまず何をどこから始めるかを検討したい。(山下委員)
- ・ ボランティア活動を紹介したい人材はいるが、デジタルが苦手な人もいる。紙ベースでの募集もした方がよいのではないか。(石田委員)
- ・ 本当はやってみたい、教えてくれればやっても良い人も多いのではないか。例えば学校で講習会を開催してくれれば、ボランティアの登録会員が増えるのではないか。デジタル化の波に乗るといふ地域課題の解決にもなる。(神間委員)
- ・ 世代に関係なく紙媒体で欲しいという人は少なからずいる。基本はデジタルだが紙の方が良い人は申し出てという注釈は必要だと思う。(牧田委員)
- ・ 紙で欲しいという人に対しては、具体的に話をしてみて要望があればデジタル登録の方法を教えてあげるということも可能である。(神間委員)
- ・ 早く始めてみたい。(牧田委員)
- ・ まず始めてみて、気づいたことがあればその都度より良いものに改良していくという考えで始動させたい。(長谷川委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) 夢育やらまいか事業について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ みらい授業は様々な業種の人とふれあえる良いキャリア教育になる。地元には多くの指導者がいる。できるだけ少人数で多くの職業を体験学習できるようにして欲しい。(神間委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、2021年6月17日(木)午後3時30分から会議室で開催する旨の報告があった。